

さやいんげん

農薬取締法上「さやいんげん」は「いんげんまめ」とは別の作物である。

「さやいんげん」には、「さやいんげん」か「豆類（未成熟）」または「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

——— 発病・加害時期
 === 発病・加害最盛期

作型・病害虫名		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
普	通				●	■	■	■	■				
炭	そ					—	—	—	—				
灰	色				—	—	—	—	—				
さ	か				—	—	—	—	—				
ハ	ダ				—	—	—	—	—				
ア	ブ				—	—	—	—	—				
マ	メ				—	—	—	—	—				

炭そ病

留意事項

1 QoI剤（1 1）は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 健全種子を用いる。
- 2 ハウス栽培では換気を徹底する。
- 3 密植を避け、通風を図る。
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ファンタジスタ顆粒水和剤](#) 1 1 【2,000倍 前日／3回】
 - ・ [ニマイバー水和剤](#) 1 1 0 【1,000倍 14日／3回】

灰色かび病

留意事項

- 1 発病適温は20～25℃である。
- 2 アミスター20フロアブルは、浸透性を高める展着剤を加用しない（薬害）。
 QoI剤（1 1）は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [セイビアーフロアブル20](#) 1 2 【1,000～1,500倍 前日／3回】
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) 1 1 【2,000倍 前日／3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [ニマイバー水和剤](#) 1 10 【1,000倍 14日／3回】

さび病

留意事項

- 1 SDHI剤 (7) は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アフェットフロアブル](#) 7 【豆類（未成熟、除えだまめ） 2,000倍 前日／3回】
 - ・ [ハーモメイト水溶剤](#) NC 【野菜類 800倍 前日／—】

ウイルス病

留意事項

- 1 種子、アブラムシ類により伝染する。
- 2 シルバーポリフィルムでマルチングを行い、アブラムシ類の飛来を回避する。

防除方法

- 1 健全種子を用いる。
- 2 子葉展開時から有翅アブラムシ類の防除に努める。（アブラムシ類の項参照）
- 3 生育初期に寒冷しゃのトンネル栽培を行う。
- 4 除草を徹底する。

ハダニ類

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 乾燥するほ場では、十分かん水する。
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ニッソラン水和剤](#) 10A 【2,000倍 前日／2回】
 - ・ [ダニトロンフロアブル](#) 21A 【1,000～2,000倍 前日／1回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 13 【2,000倍 前日／2回】

アブラムシ類

留意事項

- 1 スタークル粒剤、アルバリン粒剤は同一成分ジノテフランを含み、総使用回数は3回以内（但し、株元散布は1回以内、散布は2回以内）

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

防除方法

- 1 シルバーポリフィルムでマルチングする。
- 2 下記の薬剤を施用する。
 - ・ [アドマイヤー1粒剤](#) 4 A 【1～2g／株(但し、6kg／10aまで) 植穴土壌混和 定植時又はは種時／1回】
 - ・ [スタークル粒剤](#)、[アルバリン粒剤](#) 4 A 【9kg／10a 株元散布 生育期(14日)／1回】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [エルサン乳剤](#) 劇 1 B 【1,000～2,000倍 7日／1回】
 - ・ [アグロスリン乳剤](#) 劇 3 A 【2,000倍 7日／3回】
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 4 A 【2,000倍～4,000倍 前日／3回】

マメハモグリバエ

留意事項

- 1 パダンSG水溶剤は、眼に刺激性があるので眼に入らないように注意する。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アフアーム乳剤](#) 6 【ハモグリバエ類 2,000倍 前日／2回】
 - ・ [カスケード乳剤](#) 1 5 【2,000倍 前日／2回】
 - ・ [パダンSG水溶剤](#) 劇 1 4 【1,500倍 前日／3回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【ハモグリバエ類 3,000倍 14日／3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。